

器具を取り付ける前に

- 天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。
*しきうと工事は危険です。
また、法律で禁じられています。

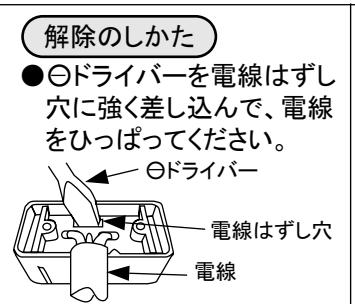
電気工事店(有資格者)のかたへ

- 角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。



*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。
●ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。
野縁
ドライバー
電線はずし穴
なべ皿木ねじ(2本)
電線
必ず守る
*補強材のないところに取り付けると器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

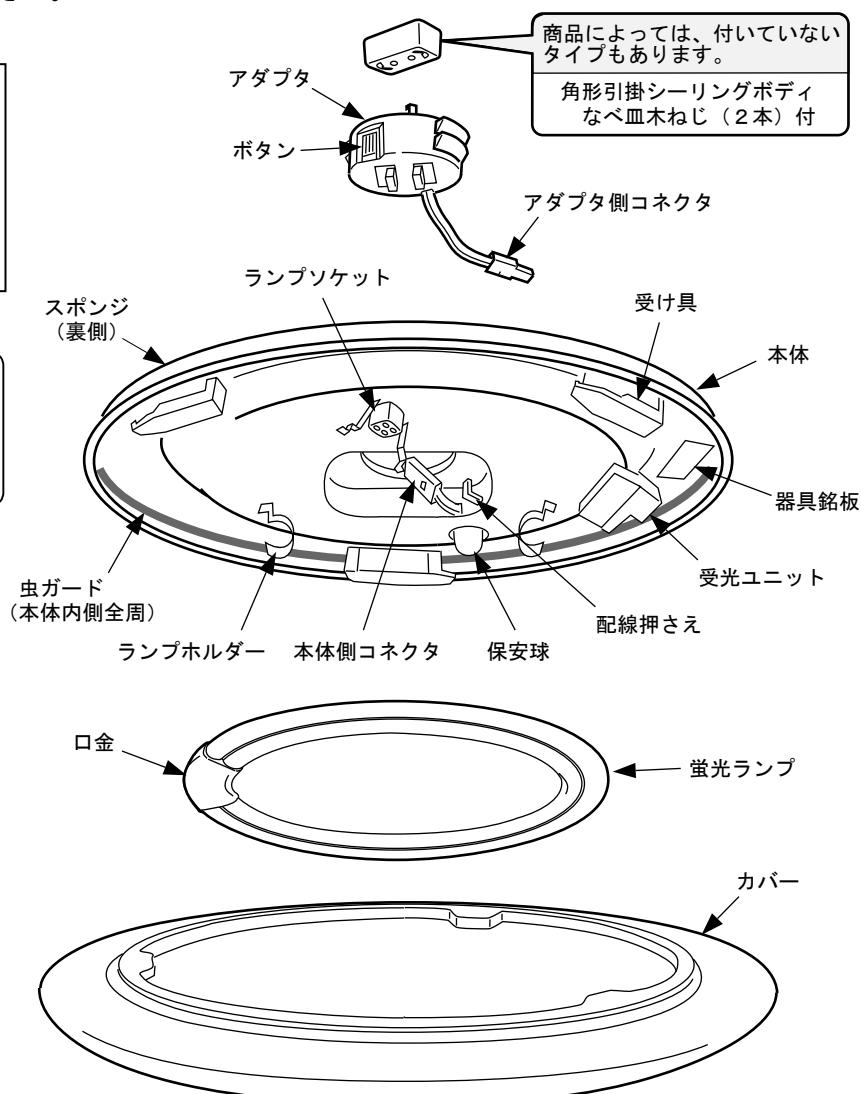
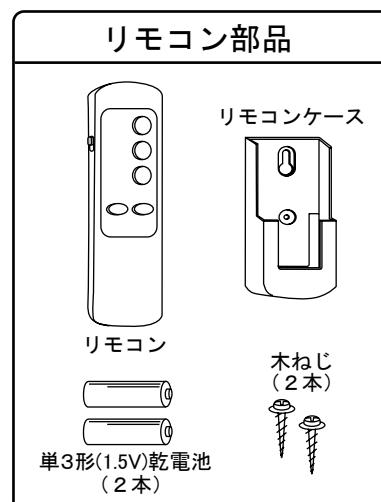
図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に…

- 蛍光ランプなどを固定しているテープをはがしてください。
- アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。

! 本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。
必ず守る *本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。

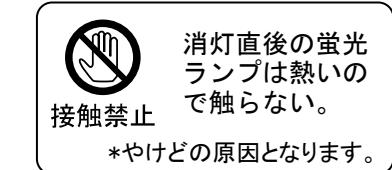


カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

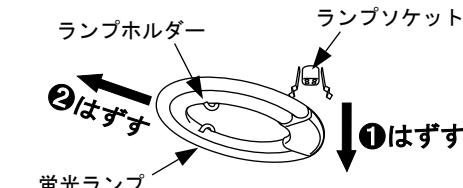
- ①電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

- ②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。

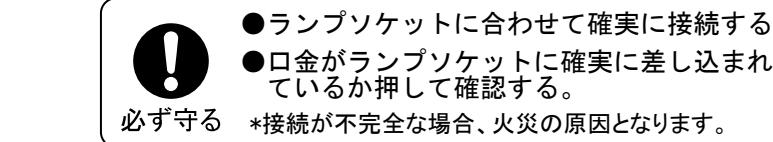
- ③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



接触禁止 消灯直後の蛍光ランプは熱いので触らない。
*やけどの原因となります。



- ④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っかけ、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



●ランプソケットに合わせて確実に接続する。
●口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
必ず守る *接続が不完全な場合、火災の原因となります。

- ⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

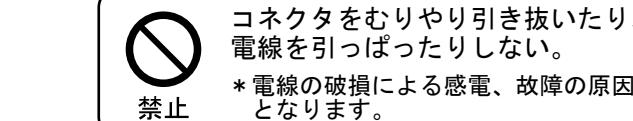
*蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

- ⑥カバーを取り付けてください。(3ページ、3. カバーの取り付け)をご参照ください。)

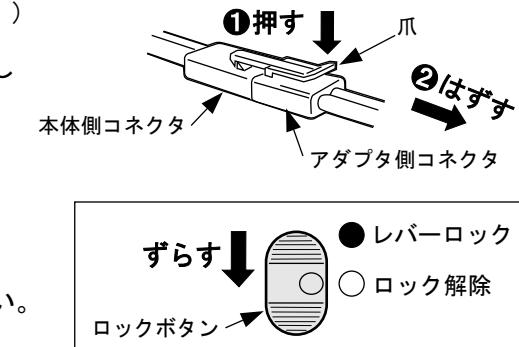
本体のはずしかた

- ①電源を切ってください。(壁スイッチをOFFにしてください。)

- ②コネクタをはずしてください。(アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。)

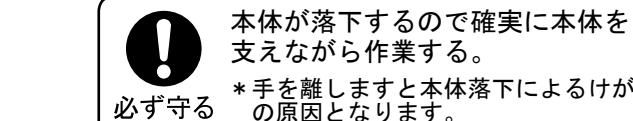


禁止 コネクタをむりやり引き抜いたり、電線を引っ張ったりしない。
*電線の破損による感電、故障の原因となります。

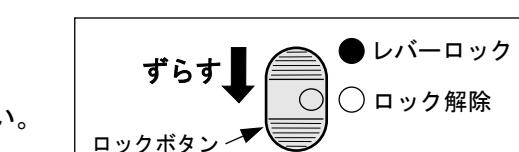


- ③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

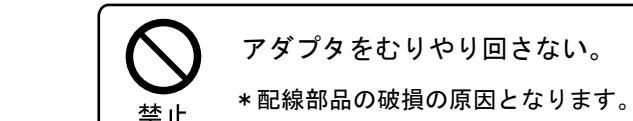
- ④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー(2ヶ所)を外側に広げてください。



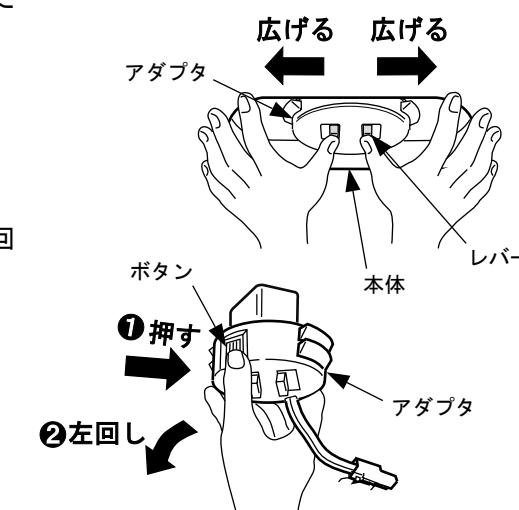
● 本体が落下するので確実に本体を支えながら作業する。
必ず守る *手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。



- ⑤アダプタをはずしてください。(ボタンを押しながら左方向に回してください。)



禁止 アダプタをむりやり回さない。
*配線部品の破損の原因となります。



- ⑥本体の取り付けかたは3ページ「器具の取り付けかた」を参照してください。